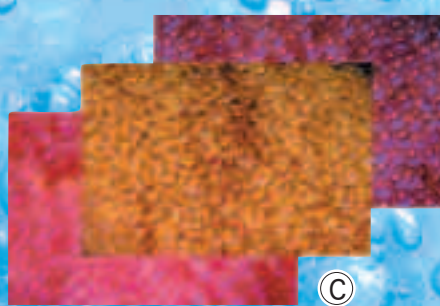


アスコート南三陸
水中樂園 ②



子煩悩なアイナメのパパ

高くなった空と鱗雲、虫の音に近づく秋を感じますが、スキューバダイビングはこれからがベストシーズンです。(気温と水温差がなく過ごしやすい時期だからです。)

さて、今回ご紹介する生物は皆様おなじみの「アイナメ」です。地方名「ネウ」の名で知られる彼らは、これから繁殖期を向かえます。この時期に観察できるアイナメたちは、年に一度の大イベントに向け、オス、メスともに捕食行動が盛んです。

彼らの生態は、オスが縄張りを決め、そこにやってきた複数のメスに求愛行動をし、メスが産卵するとオスが抱卵と呼ばれる卵の世話を始めます。ヒレを上手に使い新鮮な海水を送ったり、卵に付いたゴミを口で払ったり、外敵から卵や縄張りを守ったりと大忙しです。体が大きく強いオスほど、多くの卵を守ります。

また、観察していて特徴的なのは、メスによって卵の色が全て違うことです。

今回は、卵を守るオスの様子や外敵を追い払う様子、また、美しく輝くその卵を紹介します。

(文・写真 水中カメラマン 佐藤長明)

写真A マヒトデから卵を守るオス
写真B 孵化が近づいた卵を守るオス
写真C メスごとに色の違う卵

編集後記

▶今年は夏らしい天候の日が少なく、野外イベントなどの写真撮影に苦戦しています。▶私は広報紙の編集担当になり(旧町を含め)今年で4年目ですが、この冷夏の年に、皮膚が3回むける日焼けをしました。▶表紙がカラーなので、なるべく鮮やかな色を出したいと欲を出すので、晴天の野外イベントの撮影は特に力が入ります。▶その分、自分が白黒になるみたいです。 担当 佐藤

●日曜当番医

- 9/3 上田クリニック
☎36-2316(歌津字中山)
- 9/10 鎌田医院
☎36-2008(歌津字伊里前)
- 9/17 ささはら総合診療科
☎47-1066(志津川字汐見町)
- 9/24 佐藤徹内科クリニック
☎47-1175(志津川字廻館前)
- 10/1 高橋クリニック
☎46-4315(志津川字中瀬町)

●第1・第3日曜歯科当番医

- 9/3 小野寺歯科医院
☎36-3717(歌津字伊里前)
- 9/17 茶園歯科医院
☎46-3629(志津川字十日町)
- 10/1 米倉歯科医院
☎42-2630(本吉町津谷松岡)

※日曜当番医は、変更となることがありますので、あらかじめ電話で確認してください。受診の際は保険証をお持ちください。